

第2版（2009年4月発行）からの修正箇所は以下の通りです。

2011年4月14日

◆窯業系サイディングと標準施工 第2版 2刷（2011年4月発行）◆

< 2刷版の修正箇所 >	頁
1. 日本窯業外装材協会の変遷 JTC規格 廃止番号 0008, 0009, 0010 に修正 ・「乾式防火サイディング懇話会」発足年を 1982 年に修正 ・厚生労働省認定（日本窯業外装材協会社内検定）に修正	変遷
2. 年度別窯業系サイディング出荷グラフを 2010 年まで掲載	P1
3. 「全長及び働き長さ」引き出し線の修正	P5
4. 表 2 一寸法及び許容差 全長・働き長さ部分 910～3,300 に修正した。	P6
5. 表 6 ー性能 塗膜のはく離面積 5%以下がダブっていたのを修正	P8
6. JTC 名称 NPO 法人 住宅外装テクニカルセンターに統一	P9
7. 厚生労働省認定の施工士の数を「平成 23 年 1 月現在、約 5,000 人」に修正	P11
8. 縦胴縁、横胴縁の図を修正（胴縁と開口部の廻りのすき間 30 を明記）	P16, P17
9. 防水テープ施工の図を下部（①のテープ）のはみ出しをなくすように修正	P22
10. くぎの位置を修正	P24
11. 2. 5. 6 サイディングの施工 *部分を追加 *切り欠き幅がおおきくなると施工中の破損、施工後のひび割れ発生の危険が増します。	P25
12. ⑤ロ) の 3 行目 鋼板製のハットジョイナーに修正	P28
13. 軒天井の図、捨て胴縁を先行している図に修正	P35
14. ⑤バルコニー部分「下図に示す外壁側サイディング・・・外壁側サイディングに当たるように取り付け、・・・」に修正	P37
15. 笠木取り付け時期までに時間がかかる場合があるので、「なお、すみやかに笠木を取り付けできない場合は、ビニールシートなどの防水上有効な養生をする。」を追加	P38
16. ⑦幕板の取り付け 左図のくぎ位置を修正。くぎ又は金具等で・・・留めつける・・・」	P39
17. (2) 「胴縁の間隔は 606 mm 以下を標準とする」に修正	P40
18. (3) 胴縁のサイズ・厚み 「C 形鋼や角パイプ胴縁の厚みは、1.6mm 以上のものを使用する。ただし、構造耐力鉛直荷重を負担する鋼材は 2.3mm 以上とする。(3.2mm 以上・・・)」に修正	P40
19. 開口部の図削除	P43
20. (5) の図、不具合第 2 版の図に修正	P50
21. 社名、住所変更等の修正、窯業系サイディング第 2 版 2 刷 2011 年 4 月	裏表紙